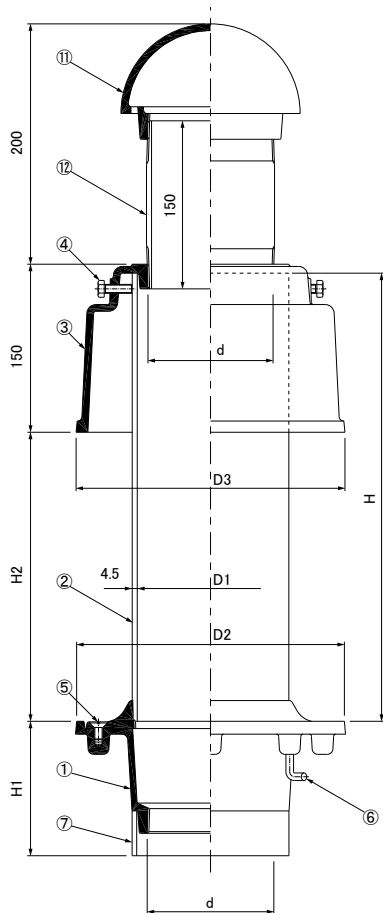


VJ-2



●特 長

1. 防水層受台が従来のVJと同等の物と100mm, 200mm, 400mm長くした物をラインナップいたしました。
2. 施工工程の省略化による工期短縮。
通気管接続用の本体をプレハブ化し、屋根コンクリートスラブに先付け打込み可能としました。
これによって施工工程が大幅に短縮され、防水工のみで施工することができます。
3. きわめて経済的。
工程の簡略化、工期短縮はそのままコストダウンにつながり、きわめて経済的な製品であるといえます。
4. 従来工法・USD工法のいずれの施工も可能。
防水層の立上げ、巻き付けを考慮した防水層受台により通常の防水施工はもとより断熱材併用施工も可能です。
5. スラブ厚に応じ、スペーサーにてH1寸法を調節いたします。
ただし、H1寸法100mmのタイプはスペーサーは付いていませんのでご注意ください。
6. H寸法700mmのタイプは降雪地帯用として最適。

●注 意

1. VJ-2セットは防水継手、ベントキャップ、接続管一式を付属します。
2. 部品表②防水層受台とパイプは一体にして塗装を施しています。
3. 部品表⑧、⑨、⑩ および施工手順例は下記参照。
施工例はI2-27ページ参照。
4. 打込金具明細表の部品No.は部品表に準じます。

●VJ-2セット部品表

No.	部 品 名	材 質	備 考
①	本 体	FC150	樹脂系塗料塗装
②	防 水 層 受 台 パ イ プ	SGP	溶融亜鉛めっき+樹脂系塗料塗装
③	カ バ ー	FC150	樹脂系塗料塗装
④	六 角 ボ ル ト	SUS304	M8×25
⑤	皿 小 ね じ		M8×16
⑥	ア ン カ ー	SS400	樹脂系塗料塗装
⑦	スペーサー VU	硬質塩化ビニル	—
⑧	固定ボルト K1	SS400	電気亜鉛めっき
⑨	養生カバー K5	SGHC	—
⑩	固 定 座 K1	SS400	電気亜鉛めっき
⑪	ベントキャップ VE	FC200	溶融亜鉛めっき
⑫	接続管 GPW-2 (I-77ページ)	SGP	溶融亜鉛めっき+樹脂系塗料塗装

●打込金具明細表

部品	ドレイン	H1寸法mm				ドレイン	H1寸法mm			
No.	寸法	100	120	150	200	寸法	100	120	150	200
⑦	75	—	VU4-40	VU4-70	VU4-120	100	—	VU5-40	VU5-70	VU5-120
⑧		K1-120	K1-160	K1-280			K1-120	K1-160	K1-280	
⑨			K5-50					K5-65		
⑩			K1-4					K1-6		

●寸法表

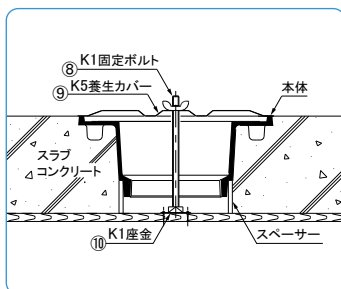
寸法	ねじ径 d	D1 mm	D2 mm	D3 mm	H1mm				H2 mm	H mm	質 量 kg			
					本体高	スペーサー調節高					H 300	H 400	H 500	H 700
75	Rc3	105.3	220	210	100	120	150	200	150・250・350・550	300・400・500・700	17.6	18.9	20.1	22.5
100	Rc4	130.8	240	240							22.5	24.0	25.5	28.5

VJ-2・VJ 施工手順例

●施工手順例

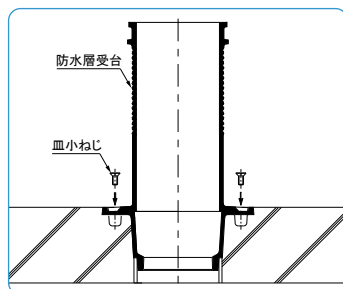
1. 本体を所定の位置に取り付ける

打込金具を利用して本体を所定の位置に取付けます。(I-27ページと同じ要領)コンクリートスラブ打設します。



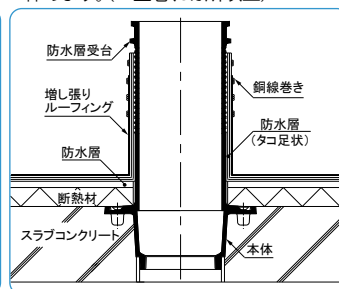
2. 防水層受台を本体にセットする

コンクリートスラブ打設後、打込金具を取り外し、受台を本体に皿小ねじで固定します。



3. 防水施工および増し張り、銅線巻きを行う

防水層および断熱材を受台の根元まで張付けます。
受台の根元は、切込みを入れた防水層をタコ足状に広げて張付け、根元が浮かないように十分に押えます。増し張りは前述と同様の方法で張付けます。
銅線 (#20) は増し張りルーフィングと防水層の両方にかかるように巻付けて締めます。(二重巻、3カ所以上)



4. カバーおよびベントキャップを取り付ける

受台の上部に保護用のカバーを取付けます。カバーの上部に接続管を介してベントキャップをねじ込み固定します。

